

運輸系統の社員運用を見直せ！ 駅異動と復帰は本人の希望を尊重せよ！

3月5日本部は、「運輸系統の社員運用に関する申し入れ」で業務委員会を開催しました。本人の意思の尊重及び駅移動期間の明確化など8項目について会社に迫りました。

JNR採用は元職場に返せ！

会社は、駅移動期間については「最低でも5～6年になる」と回答し、復帰については「JNR・JR採用において戻る人も戻らない人もいる」「全て希望とはならない」との回答に終始しました。本部は、JNR採用は、駅・車掌の経験がなく、社員運用のフレームが違うため早急に元職場に戻すよう会社に強く求めました。

復帰は宙ぶらりんにならないと労使で確認

本部は復帰について、本人の意思を尊重し乗務員区所に復帰させることを強く要求しました。会社が、「数年以内の期間でまとまった形で再異動させる」と回答したことに対し、「復帰について宙ぶらりんにしはしない」ことを労使で確認しました。

乗務員復帰教育のためにフォローを十分行う

復帰後の教育終了確認について会社は「責任をもって試験は合格させる」と回答し、そのための十分なフォローを行うことを労使で確認しました。

JR東海労は、社員運用の見直しを今後とも強く求めて行きます。

**現場実態を無視した
社員運用の見直しを求める！**